

科目区分	基礎科目			
授業科目名	動物実験技術			
担当者名	責任者	関 信輔	分担者	山崎 渉
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義:1～5, 実験実習:6～15		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	2023年4月～2023年9月(日程の詳細は応相談)〔令和5年度休講〕			
開講曜日・時間	毎週金曜日 18:00～21:30(日程の詳細は応相談)			
授業の概要・到達目標				
授業の目的:医学の教育・研究に必要不可欠である動物実験について,理解することを目的とする。 授業の到達目標:動物実験に対する正しい知識や技術を習得し,動物福祉の理念を理解することを目標とする。				
授業計画				
	授業の概要及び到達目標 (授 業 内 容)	担当教員名	講座名 〔実施場所〕	
1	動物実験の意義、倫理と関連法規	関 信輔	バイオサイエンス教育・ 研究サポートセンター 動物実験部門 〔部門セミナー室〕	
2	適正な動物実験	関 信輔		
3	各実験動物の特徴	関 信輔		
4	遺伝子組換え動物実験	関 信輔		
5	動物実験施設と環境	山崎 渉		
6	マウス基本的実験技術Ⅰ(保定,馴化,保定,腹腔内投与)	関 信輔	バイオサイエンス教育・ 研究サポートセンター 動物実験部門 〔部門研究室〕	
7	マウス基本的実験技術Ⅱ(各種投与)	関 信輔		
8	マウス基本的実験技術Ⅲ(解剖)	関 信輔		
9	ラット基本的実験技術Ⅰ(採血,投与など)	関 信輔		
10	ラット基本的実験技術Ⅱ(麻酔,外科的手術など)	関 信輔		
11	ラット基本的実験技術Ⅲ(解剖)	関 信輔		
12	ウサギ基本的実験技術(投与など)	関 信輔		
13	精子の凍結保存	関 信輔		
14	胚の凍結保存	関 信輔		
15	過排卵誘起、体外受精	山崎 渉		
成績評価の基準と方法				
セミナー室(研究室)での講義および実習30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果,提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名,メールアドレス等)				
関 信輔, sseki@gipc.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報:社会人大学院生など,勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献:実験動物の技術と応用―入門編・実践編(アドスリー),新実験動物学(朝倉書店) 自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				